

～中期経営計画の着実な推進のために～

2008年度 部長の「仕事目標」

市の部長28人が、各部の目標とその実現へ向けた取り組みをまとめ、「仕事目標」を作成しました。2008年度の「仕事目標」の中から「部の使命・基本方針」と、今年度の主な取り組み項目をご紹介します。

問 経営改革室 ☎724・2503

今回ご紹介するものは、内容の一部を簡潔に表したもので、部長の「仕事目標」の原文とは異なる表現があります。

子どもや障がい者、高齢者などの福祉のために

子ども生活部長 浅野 正

使命・基本方針

子どもたちが地域の「タカラ」として育まれるよう、「子育てのまちの創造」を推進します。

今年度の取り組み

- ・保育サービスの整備と子育て相談の充実
- ・「子どもの居場所づくり」の推進と「子どもの体験活動」の支援



地域福祉部長 土屋 豊

使命・基本方針

すべての市民の自立と、支え合いが促進される地域づくりを市民との協働で進めます。

今年度の取り組み

- ・成年後見制度推進機関の設置
- ・精神科長期入院者の退院支援
- ・民営障がい福祉施設の人材育成の支援
- ・災害時要支援者対策の推進

小・中学校や図書館など、教育のために

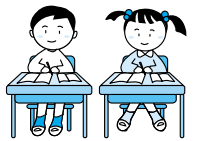
学校教育部長 安藤 源照

使命・基本方針

市立学校教員の指導力の向上と教育環境の充実を図り、地域と共に子どもを育てる、元気あふれる学校づくりを推進します。

今年度の取り組み

- ・児童生徒急増対策の具体化
- ・安全・安心対策の推進
- ・多種多様な教育課題への対応の充実



市民の健康のために

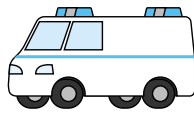
市民病院事務長 小野 芳隆

使命・基本方針

経営の強化を図り、町田市の医療の中核を担う病院としての役割を發揮します。

今年度の取り組み

- ・病院事業の採算性向上
- ・地域周産期センターの開設
- ・救急医療体制の充実



いきいき健康部長 倉田 二郎

使命・基本方針

市民一人ひとりが健康で、自立し、住み慣れたまちで安心して暮らし続けられる社会を実現します。

今年度の取り組み

- ・生活習慣病の予防
- ・高齢者福祉施設整備の推進
- ・介護支援ボランティア制度の準備



生涯学習部長 梅橋 敏博

使命・基本方針

いつでもどこでも自由に学び続けることができる社会を目指し、学習の場や機会の充実、環境の整備を進めます。

今年度の取り組み

- ・生涯学習施策の体系化
- ・生涯学習情報の整理と提供
- ・生涯学習ネットワークの拡大

よりよい生活環境を実現するために

環境資源部長 鈴木 和夫

使命・基本方針

市民、事業者、市の協働により、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な循環型社会の実現を目指します。

今年度の取り組み

- ・家庭生ごみの再資源化推進
- ・リサイクル広場の実施
- ・「ごみゼロのまち」をつくるための計画策定
- ・温室効果ガス削減



施設計画担当部長 加藤 貴一

使命・基本方針

資源の有効利用や資源化できないごみの処理処分を安全、確実、効率的に行い、地球環境や市内の衛生環境の保全に寄与します。

今年度の取り組み

- ・ごみの資源化及び適正処理処分のための施設検討
- ・事業系持込ごみの減量の推進
- ・最終処分場の適正閉鎖に向けた調査・検討

上下水道部長 鎌溝 慶一

使命・基本方針

重要な都市基盤である下水道を整備し、良好に維持管理していくことにより、安全で快適な市民生活の向上を図ります。

今年度の取り組み

- ・汚水幹線の延伸と枝線の整備
- ・高度処理施設の建設
- ・環境にやさしい、窒素除去型合併処理浄化槽への切り替え工事の促進

心豊かに楽しく過ごせるまちづくりのために

文化スポーツ振興部長 荒木 純生

使命・基本方針

楽しさや喜びのあふれる、心豊かで健康な市民生活と活力のある都市の創造に寄与します。

今年度の取り組み

- ・エコミュージアムモデル事業の実施
- ・新博物館構想の策定
- ・スポーツ振興計画の策定

地域で受け継がれてきた自然や文化、生活様式を含めた環境全体を持続可能な方法で研究・保存・展示・活用していこうという考え方

まちの活力と魅力の創出のために

経済観光部長 尾留川 朗

使命・基本方針

市内経済を活性化させるとともに、持続、発展する産業環境を醸成します。

今年度の取り組み

- ・産業振興基本条例の制定
- ・中心市街地活性化計画の策定
- ・観光振興計画の策定



水道事業担当部長 河野 修

使命・基本方針

安全でおいしい水を安定給水するとともに、災害に強いライフラインを整備します。

今年度の取り組み

- ・耐震管の布設など、災害対策の推進
- ・受託業務を東京都へ移行するための計画の策定・実施

北部丘陵担当部長 笠原 裕至

使命・基本方針

多摩丘陵の原風景をのこす自然環境を貴重な緑の資産として保全し、次世代へ引き継いでいきます。

今年度の取り組み

- ・シンポジウムを開催し、北部丘陵の重要性をアピール
- ・取得済みの農地や山林など、市有地の利活用の方針を策定